

# 「バルーンみなみ」さんが来園し、バルーンショーを！～さまざまな風船を使って、サーカスのキャラクターを！ <2/5>

2月5日(金)、2010年に「ツイスターズ横浜 2010」というバルーンアートの腕を競う全国大会で優勝を果たすなど、国内でも少ない女性バルーンパフォーマーの一人として、栃木県、関東地方を中心に様々なイベントに出演している「バルーンみなみさん」が来園しました。



10時20分に各クラスの子も達が遊戯室に集まると、ステージの上には「大小のテント型のケースと大きなアタッシュケース」が置かれています。それを見て、子ども達のワクワク感も高まっていったようです。

子ども達がきちんと並んで腰を下ろすと、美奈先生が「みんなで、みなみちゃん！と大きな声で呼んでみよう。」と言いました。その声に応じて、全園児（乳児棟のメロン組さんも参加してくれました）が大きな声で「みなみちゃーん！」と呼ぶと、赤いステージ衣装に身を包みフェイスシールドを顔につけた「みなみちゃん」が、元気に「ハイ」と言って登場しました。手には「細長い風船」をたくさん持っています。そして、風船を手から離すと「ピュー！」と音を出しながら飛び出しました。このパフォーマンスに子ども達も大喜びでした。



いよいよ「バルーンショー」の始まりです。まずは「明るく元気」な自己紹介があり、次に、細長い風船を使って「象さん」を作りました。そして水玉の風船を膨らませ、「玉乗りをする象さん」を完成させました。その素早い手さばきに、子ども達から思わず拍手が起こります。一瞬にして「パフォーマーと観客の一体感」が出来上がりました。さすがです。次はサーカスには欠かせない「ピエロ」を作ります。いろいろな風船を使い、上手くねじりながら風船をつなぎ合わせていきます。次に銀色の細長い風船にピエロの手をつなぎます。「みなみちゃん」が銀色の風船の両端を持つと、なぜかピエロが回転を始めました。思わず「スゴイ！」という子ども達の声。次は、大きなアタッシュケースの中から、つながった細長い風船を取り出しました。そして、大きなテント型のケースからはたくさんのライオン形の風船を取りだし、細長い風船につなぎ合わせていきます。そして、みなみちゃんがある道具を取り出し「かけ声」をかけると、不思議なことに持っていたライオンさん達が手から離れ、宙に浮かんで回転し始めました。「ワー！すごい」という感嘆の声があちらこちらから聞こえてきます。この日一番子ども達が驚いた場面でした。



その他にも子ども達が喜ぶバルーンアートをたくさん見せてくださいました。アンコールにも応えていただき、本当にありがとうございました。  
【写真】(一番上左)メロン組さんはいつもきちんと靴を並べて遊戯室へ入ることができます。スゴイですね。(2・3段目)表情豊かな「みなみちゃん」。素晴らしいパフォーマンスでした。(5段目)子ども達が一番驚いた「宙に浮いて回転するライオンたち」。どんな仕掛けがあったのでしょうか。(一番下)真剣な表情でバルーンアートを見る子ども達。いい思い出ができました。